



医療との 関わり方を 考える

— 地域医療の充実と
救急医療の適正化のために —

健康であり続けたい。

これは全ての人に共通する願いです。

今回の特集では、私たちが生涯を通して、
地域で安心して暮らし続けるために、これ
から求められる医療の役割や在り方を紹介。
私たちにできることを考えていきます。

詳細 医療政策課 ☎622-5162

医療の課題

かかりつけ医と
病院の役割に
応じた受診

救急医療の
適正な利用

一人一人がこれらを徹底することで、
今、そして未来の医療を
守る第一歩に

急速な高齢化により、札幌では平成27年におおむね4人に1人が高齢者となり、その後も増加することが予想されています。それに伴い、医療機関を受診する人も増える見込みですが、これからも治療が必要な人に医療が行き渡る体制であり続けなければなりません。

医療体制を維持していくために、市では次の2つを課題と考えています。1つは、地域の医師「かかりつけ医」と、専門的な治療を行う「病院」の役割を十分に理解せず受診すること。もう1つは、軽症でも安易に救急医療を利用する人がいることです。医師の数や医療施設に限りがある中、市民の健康で安心な暮らしを守り続けるためには、これらの課題の解決に向けた取り組みを、今から進めることが必要です。